

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AU311／文学講義 411 (Lectures on Literature 411)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	詩創作論1		
担当者名 (Instructor)	野崎 有以(NOZAKI Ai)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	PCW2300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

文学作品をさまざまな観点から鑑賞・批評することを通して、日本語による表現および日本の文化について柔軟に考える。

Through appreciating and criticizing literary works from various perspectives, students will flexibly think about expressions in Japanese and Japanese culture.

#### 授業の内容(Course Contents)

日本語による文学作品を読み、その役割や解釈について考える。また、ディスカッションを通して各自の考えを深める。担当教員は詩の実作者でもあり、家政学の研究者でもある。そのため、主に「家政学」、「生活」といった観点から文学作品へアプローチする。

Reading literary works in Japanese and think about their interpretations and roles in society. Students will deepen their thoughts about Japanese linguistic expressions. through discussions. The instructor is also a poetry author and a researcher in Home Economics. Therefore, we approach literary works mainly from the viewpoints of "Home Economics" and "Life".

#### 授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション。資料を配布して読む。
2. 文学の形態(詩、小説、随筆)。
3. 「文学」は無力か?【自身の文学観についての小レポートを提出】
4. 文芸作品が社会に対して与える影響について考える。提出された小レポートの講評。
5. 文学と生活の関係。
6. 生活における文学の表象。
7. 民衆文芸としての文学作品。
8. 家庭小説(明治三十年代)。
9. 家庭小説(高度経済成長期)。
10. ジェンダーと文学(近代文学)。
11. ジェンダーと文学(絵本や児童文学。海外作品および日本の民話等の外国語訳も含む)。
12. 文学の役割とは何か?【ここまでの授業で考えた文学について的小レポートを提出】
13. 提出された小レポートの講評。
14. まとめ【最終レポート提出】。

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

提出する課題(小レポートなど)を授業時間外に執筆する必要がある。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 小レポート、リアクションペーパー等の提出物(40%) / 授業参加度(20%)

#### テキスト(Textbooks)

授業で使用する資料は毎回こちらで用意したものを配布する。

#### 参考文献(Readings)

1. 吉野弘、1982、『詩の楽しみ—作詩教室』、岩波書店
2. 茨木のり子、1979、『詩のころを読む』、岩波書店
3. 今和次郎、1971、『家政論 今和次郎集 6』、ドメス出版
4. 今和次郎、1971、『生活学 今和次郎集 5』、ドメス出版
5. 石原千秋、2017、『漱石と日本の近代(上)』、新潮社
6. 石原千秋、2017、『漱石と日本の近代(下)』、新潮社

上記の参考文献以外にも適宜授業内で紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)